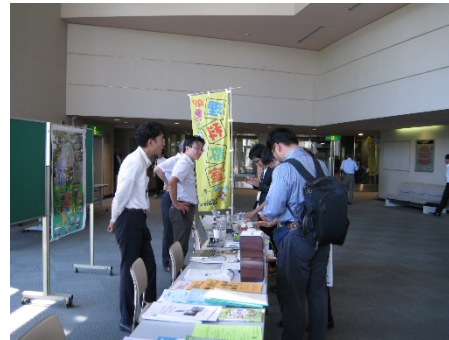
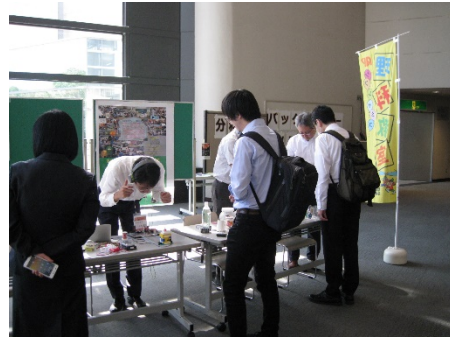


## 2018年 第79回応用物理学会秋季学術講演会における教材展示、応用物理学会将来基金募金活動

2018年第79回応用物理学会秋季学術講演会(名古屋国際会議場)開催中の9月18日～20日の3日間、北海道、東北、北陸・信越、東海、関西、中国四国、九州(各支部)、関東地区(応用物理教育分科会)の各地区で実施あるいは実施予定のリフレッシュ理科教室の為に企画作製した教材をセンチュリーホール2Fホワイエに設けられた展示ブースにおいて展示し、リフレッシュ理科教室の実施をおこなっている関係者が分担して説明を行った。好評をいただいているこれまでの教材に加え、新たに東北支部からは、傾きをセンサーで捉えLEDを点灯させる電子工作キットの展示が行われた。東海支部からは、平行に置いた鏡に反射するLEDの光が無限に連なって見える「光のトンネル」、透過光と反射光の偏光の違いを利用し、偏光板を回すと絵が変わる「偏光スコープ」、偏光板を利用した「偏光万華」、さらに9月17日に実施された全国実行委員参加型リフレッシュ理科教室(名古屋市科学館)において実施したテーマから「ルミネサーベル」の4点の展示が行われた。さらに中国四国支部からは、パン種に電流を流すことで出るジュール熱を用いてパンを焼く「電気パン」、棒を落下させて人間の反応時間を測定する教材の展示があった。

このような新たな教材の展示もあり、ブースに立ち寄り自ら動作させてみて大変興味を持つ参加会員が多くあった。その際、リフレッシュ理科教室活動に対する励ましの言葉があり、リフレッシュ理科教室の活動が会員から支援されている事が実感された。加えて、多くの方々からリフレッシュ理科教室の活動への支援として「応用物理学会将来基金募金」へのご寄付をいただき、その延べ口数は47口(47,000円)であった。





※リフレッシュ理科教室教材展示・説明にご協力いただいた方々（敬称略）

中村基訓（旭川高専）、小野寺敏幸（東北工業大学）、大兼幹彦（東北大学）、渡辺良祐（弘前大学）、遠藤拓（日本大学）、佐藤杉弥（日本工業大学）、中野寛之（愛知工業大学）、有元圭介（山梨大学）、河村貴宏（三重大学）、高井吉明（愛知工業大学）、羽瀧仁恵（岐阜高専）、小野晋吾（名古屋工業大学）、近藤英一、青木裕介（三重大学）、池田浩也（静岡大学）、荻野明久（静岡大学）、曾根原誠（信州大学）、山田容士（島根大学）、堀江雄二（鹿児島大学）、平松信康（福岡大学）、香野淳（福岡大学）、吉武剛（九州大学）、原一広（九州大学）、藤城武彦（東海大学）